



こやま しょうこ  
議員 (公明党)

**原油価格、物価高騰対応分地方創生臨時交付金の活用・ウクライナ支援・生き辛さを抱えている方への支援策について**

**生活支援について**

**問** 長引くコロナ禍、ウクライナ情勢の影響で暮らしを支えるがソリンや食料品などの値上がり相次ぐ中、地方創生臨時交付金を学校給食費の負担軽減に活用する考えは。

**答** 給食提供に支障が生じる場合は、公費で対応します。

**問** 生活困窮者や子育て世帯への給付金の上乗せの考えは。

**答** 住民税非課税世帯生活応援商品券給付を生活支援と位置づけました。

**事業者支援について**

**問** バス・タクシーなどの地域公共交通やトラックなど地域物流の経営支援の考えは。

**答** 事業者サポート給付金の交付が可能です。長引く場合は検討します。

**本市独自の支援策について**

**問** 本市の課題点は。  
**答** 税の扶養になっていない高齢者

のみの世帯や、非課税世帯でなくとも大変との意見があります。

**問** 今後の支援策は。

**答** 市民の声に応える商品券事業は、地域の活性化や全市民を応援するものです。

**ウクライナ支援について**

**問** 市の支援計画は。

**答** 市営住宅7戸を準備し、他にも生活必需品の提供や就労、医療支援などを検討しています。

**その他、生き辛さを抱えている方への支援策を質問しました。**



学校給食の様子



えい 桜井 ひろこ  
議員 (日本共産党安中市議団)

**太陽光発電施設開発・学校給食・人間ドックについて**

**開発で使用した、区域外の市道の復元の問題について**

**問** 下秋間に民間事業者が開発を進めてきた太陽光発電施設は、すでに令和2年秋頃から稼働しているが、開発区域外の搬入道路で使用した農地や市道の復元がされず農地に入れない等、解決されていない。道路の現状回復はいつ頃どうなる見込みか。

**答** 工事の終了に伴い、復元したと聞いていましたが、隣接関係者等から、市道の境界を明確にしてほしいと要望があり、開発業者に境界の復元を依頼しており、今後、現地にて確認を行うことになっています。

**問** 開発区域内のり面との境界の市道を横切って搬入していたので、市の指導が必要では。

**答** 市道の境界が復元後、隣接関係者や開発事業者等と立ち合いを行い、道路の復元について協議し、必要に応じ、事業者に対して指導を行います。

して指導を行います。

**『緑のダム』とした所の問題について**

**問** 北側の『緑のダム』の所は、水が湧いていた所。今もわずかに流れている。大雨の時など、被害があつたらどうするのか。

**答** 森林の維持管理については、令和3年3月23日付、市と事業者で締結の残置森林等保全に関する協定書に基づき対応します。

**その他、2項目について質問しました。**



下秋間太陽光発電所北のり面の『緑のダム』